

日本看護技術学会第20回学術集会 移動動作評価班交流セッション報告書



用具を使って楽に移動介助をしていますか！ —みんなでいっしょに普及活動しよう—

日時：2022年11月5日（日）13:00～14:20
会場：神奈川県立保健福祉大学（オンライン）

日本看護技術学会第20回学術集会
交流セッション3（2022年11月5日13:00～14:20）

用具を使って楽に移動介助をしていますか！ —みんなでいっしょに普及活動しよう—

西田直子（京都先端科学大学）
水戸優子（神奈川県立保健福祉大学）
平田美和（帝京大学）
富田川智志（日本福祉大学）
首藤英里香（札幌保健医療大学）
國澤尚子（埼玉県立大学）
若村智子（京都大学）

本日の進行

司会 國澤、若村

- ◆13:00 交流セッションの目的とQ & A作成の経緯（西田班長）
- ◆13:05 最新Q & Aの変更点の説明（水戸）
- ◆13:15 第6回全国キャラバン研修会の紹介「コロナ禍でのオンラインでの基礎看護技術の教育方法」
 - ①人の自然な身体の動きの確認（平田）
 - ②滑りの基本（首藤）
 - ③滑りを使った介助の実際（富田川）
- ◆14:00 質疑応答

移動動作評価班の目的と変遷

2008年から患者および介助者にとって安全・安楽な移動動作に関連する看護技術の検証およびその開発を目指して活動を行っている。

2013年に厚生労働省の「職場における腰痛予防対策指針」改訂

2015年度より「職場における腰痛予防対策指針」に基づく安全安楽な移動方法の検討に取り組み、「用具を使って楽に移動介助を！移動・移乗技術Q&A Ver.1.0」を作成。

2018年に改訂版(Ver.2.0)を作成し、チェックリスト、QRコードを追加。

2022年に「用具を使って楽に移動介助を！移動・移乗技術Q&A Ver.3.0」改訂



「用具を使って楽に移動介助を！がバージョンアップされました。今回のバージョンアップの特徴は、チェックリストとYouTube動画が見られること、これまで含まれていなかった「ベッド上移動」が根拠とともに詳しく紹介されています。

移動動作評価班の「用具を使って楽に
移乗介助を！ Q & A Ver.3.0」が学会
ホームページに掲載されました
(2022年5月)

日本看護技術学会技術研究成果検討委員会移動動作評価班では2022年5月に「用具を使って楽に移乗介助を！ Q & A Ver.3.0」を作成しました。2013年に厚生労働省から「職場における腰痛予防対策指針」が改訂されたことを受けて、「腰痛予防」と「用具」を使用した移乗方法を探求し、Q & Aを完成しました。このQ & Aには、移乗動作の動画にリンクするQRコードと、移乗方法のチェックリストがついています。ご活用頂き、アンケートにて感想・意見を聞かせてください。



チェックリストとYouTube動画併用可能です！

Question 1: スライディングシートを使って移動する人、ベッドから車椅子の移乗を助けるにはどんなコツがありますか？

Answer 1: 対象者に移動の目的、方法を説明し、同意・協力を得る。

Question 2: ベッド上移動では、どのような用具が使えますか？

Answer 2: ベッド上の移動では、スライディングシートを使用する方法があります。

Question 3: ベッド上移動では、持ち上げず、押す・引く・回転させる動きが基本となります。

Question 4: 対象者の状態に応じたスライディングシートを準備する。

Question 5: 対象者の両上肢を胸腹部の上で組む。

Question 6: 頸部（枕の下）から腰部、腰部から下肢までスライディングシートを敷き込む。

Question 7: 反対側から敷き込んだスライディングシートを動かす。

Question 8: 介助者は腰を低くし、対象者の肩と腰を支えてゆっくり押す。

Question 9: スライディングシートを腰部の幅に集めて引き出す。

Question 10: 対象者の体位と寝衣、周囲の環境等を整える。

ベッド上移動（上方・側方）6頁追加されました！

Question 12: ベッド上移動ではどのような用具が使えますか？

Answer 12: スライディングシートは幅が狭いや厚いシートであり、主にベッド上での移動や体位変換等の時に対象者の身体の下に敷き込み、ベッドとの摩擦を減らして移動しやすくする支援用具です。

Question 13: ベッド上移動では、持ち上げず、押す・引く・回転させる動きが基本となります。

Question 14: 対象者の状態に応じたスライディングシートを準備する。

Question 15: 対象者の両上肢を胸腹部の上で組む。

Question 16: 頸部（枕の下）から腰部、腰部から下肢までスライディングシートを敷き込む。

Question 17: 反対側から敷き込んだスライディングシートを動かす。

Question 18: 介助者は腰を低くし、対象者の肩と腰を支えてゆっくり押す。

Question 19: スライディングシートを腰部の幅に集めて引き出す。

Question 20: 対象者の体位と寝衣、周囲の環境等を整える。

第6回全国キャラバン研修会（オンライン）

一般社団法人日本看護技術学会 技術研究成果検討委員会 主催
2021年度全国キャラバン研修会
ジェネラルナースの技術力を高めよう
エビデンスに基づく移動動作技術の技

日時: 2022年3月13日 (日) 13:00~15:00
会場: Zoomによるオンライン研修
受講料: 会員 無料(非会員 1,000円)
講師: 技術研究成果検討委員会

時期	内容	方法	担当者
1300	・オリエンテーション、この資料の活用について ・録画のアナウンス ・技術研究成果検討委員会の紹介		水戸 西田
1303	移動動作評価班のメンバー紹介/本日の予定		若村・岡澤
1307	①人の自然な身体の動きを確認してみよう	演習 解説	平田
1335	②滑りの基本 ～原理・原則の理解と応用～ ～スライディングシートの種類とそれぞれの特徴～	演習 解説	首藤 富田川
1405	③車椅子移乗 ～当事者からみた車椅子移乗方法～ ～介助者からみた移乗介助のポイント～	演習 解説	西田 水戸
1440	質疑応答		岡澤・若村
1455	閉会挨拶、アンケート、記念撮影のお願い		西田

用具を使って楽に移動介助していますか！
～みんなでいっしょに普及活動しよう～

滑りの基本
～原理・原則の理解と応用～

首藤 英里香 (札幌保健医療大学)
《日本看護技術学会・移動動作評価班》

参加者アンケート結果より

参加者 49人
 回収数(回収率14.3%) 7人
 1. 交流セッション3に参加した目的はなんです

内容	人	%
テーマに興味があった	5	71.4
看護技術教育について情報を得たかった	4	57.1
用具を活用した技術方法について知りたいことがあった	2	28.6
その他	0	0

2. 移動動作教育で関心があったのはどれですか。
 (複数回答)

内容	人	%
用具の活用について	6	85.7
オンライン演習について	4	57.1
授業の組み立てについて	2	28.6
演習の組み立てについて	3	42.9
その他	0	0

3. 感想や希望があればご記入ください

●“教科書を中心に教えるというイメージだったため、様々な体験をしてもらうことで、用具の使い方や選び方を学べることがよくわかりました。現場での現実も再度認識でき、自由に意見交換できるこのような場があることがとても意義があることだと思いました。もっと自分自身の技術教育の在り方も考えていかないといけないと思います”

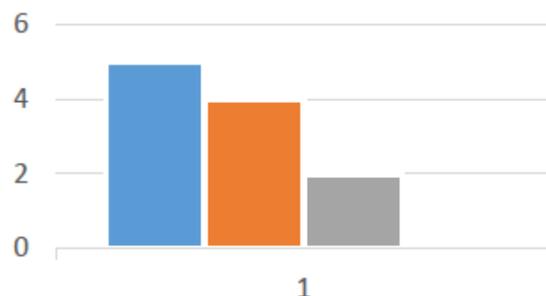
●“首藤先生のご発表にあったビニール袋を使用した方法について、講義演習に取り入れていきたいと思いました。 富田川先生のご発表の中にあつた、「滑り止め」について、滑らせることばかりに目が向きがちでしたが、滑らせること⇔滑りをとめること この点が両方あって効果が高まるのが印象に残り、とても興味深かった”

●「年生の「活動の援助」の授業担当として、自分の講義内容などが少しマンネリ化している気もあり、参加いたしました。改めて、必要なことが確認できました。スライドシートについても、まずは学生に有用性を理解してもらい、未来につなごうと思います。ありがとうございます”

チャット・ご意見

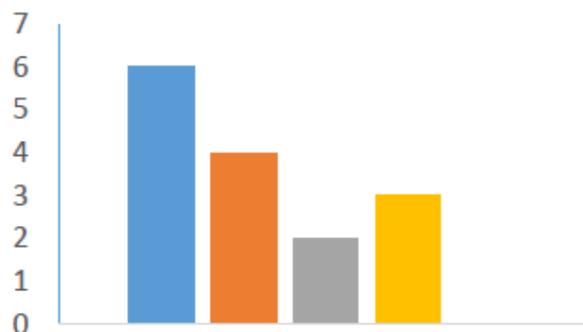
- ・スライディングシートの挿入方法で頸部から三つ折りに入れて上側と下に広げた方が体位変換がなくてよい。
- ・患者に何か起こっているのか、在宅看護の中での経験交流していく。
- ・一般公開ができるようにyoutubeの活用してほしい
- ・ショートステイや介護教室などの一般公開してほしい

(人) 参加目的



- テーマに興味があった
- 看護技術教育について情報を得たかった
- 用具を活用した技術方法について知りたいことがあった
- その他

(人) 関心内容



- 用具の活用について
- オンライン演習について
- 授業の組み立てについて
- 演習の組み立てについて
- その他